

4
5
6
7
8
9
90
1
2
3
4
5
6
7
8
9
100
1
2
3
4
5



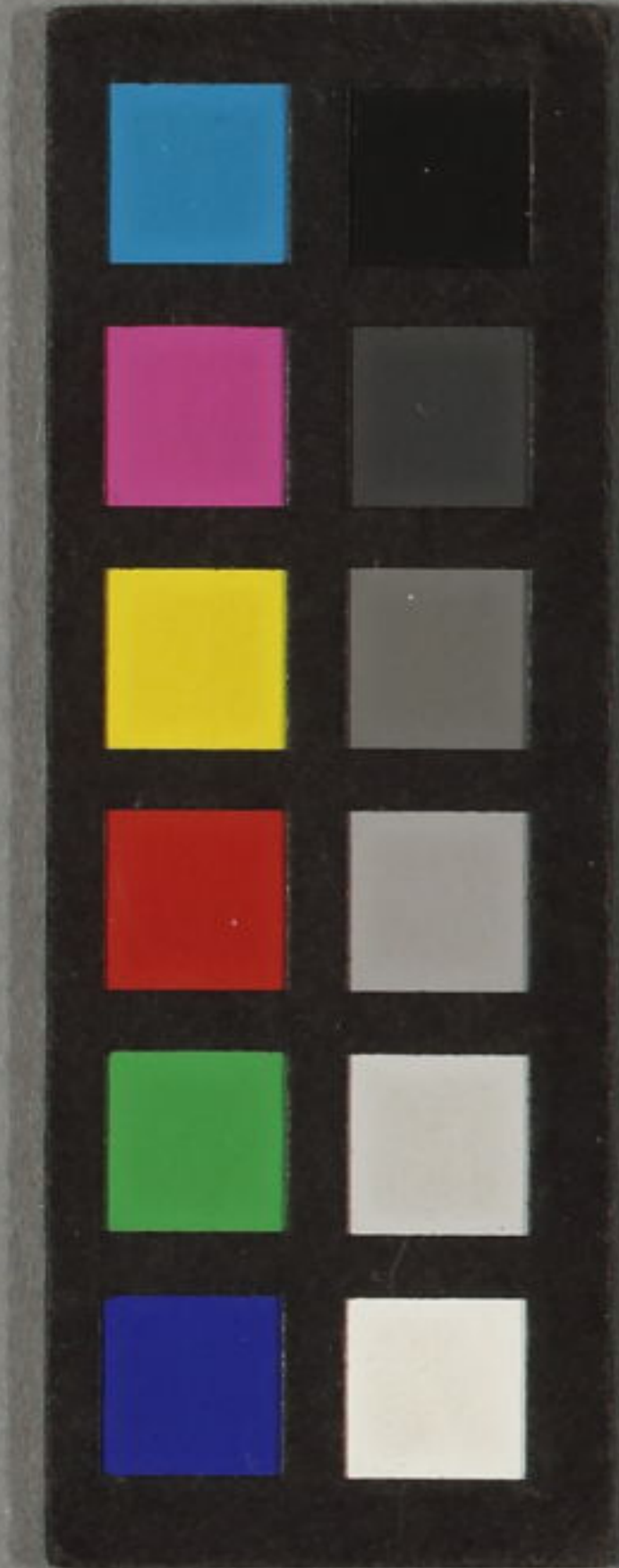
仙果錄

國貞畫

犬傳大出紙

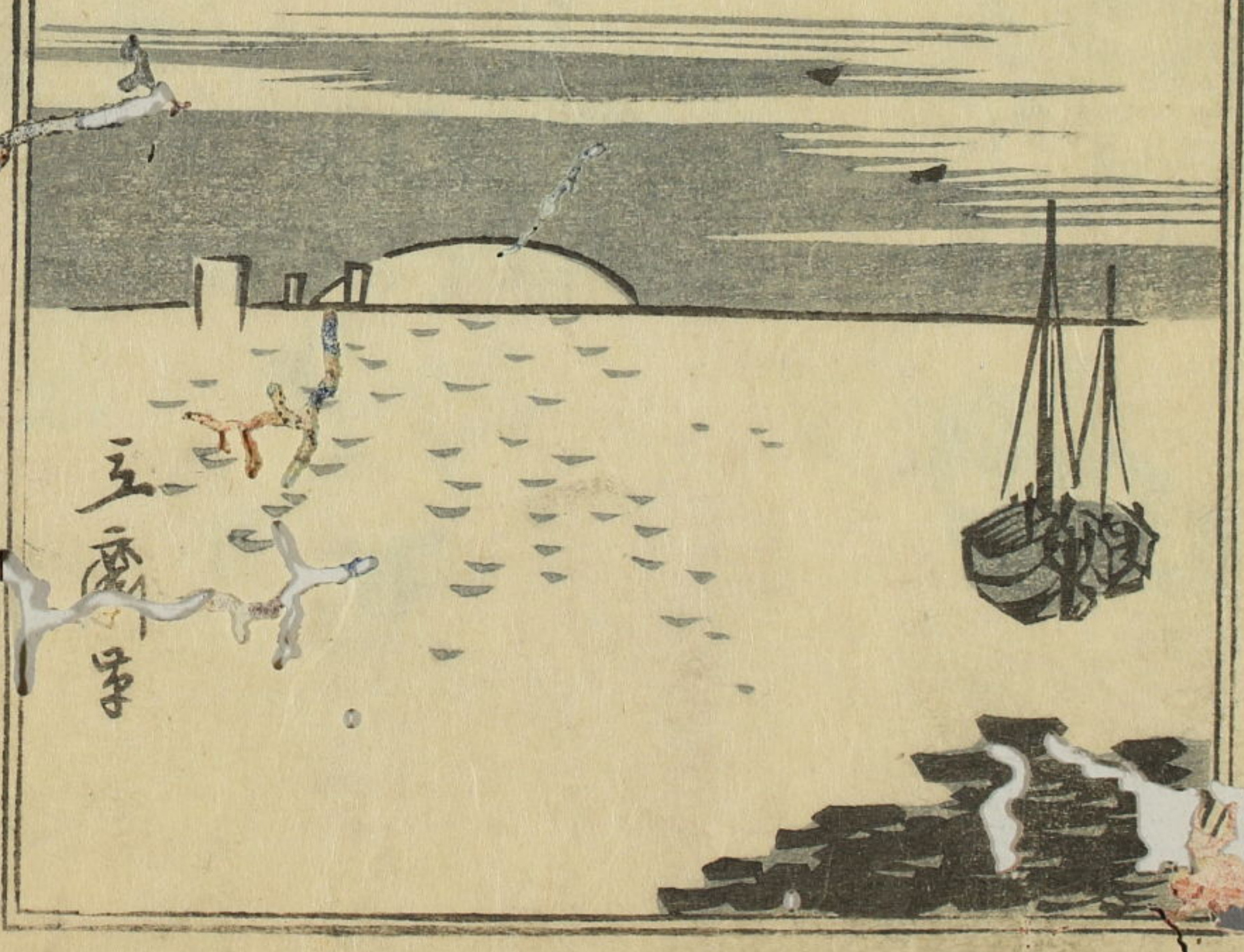
外題曲多國貞

萬葉





雪之大 梅之 雙 卷之六 仙果録上 負画 紅 棹



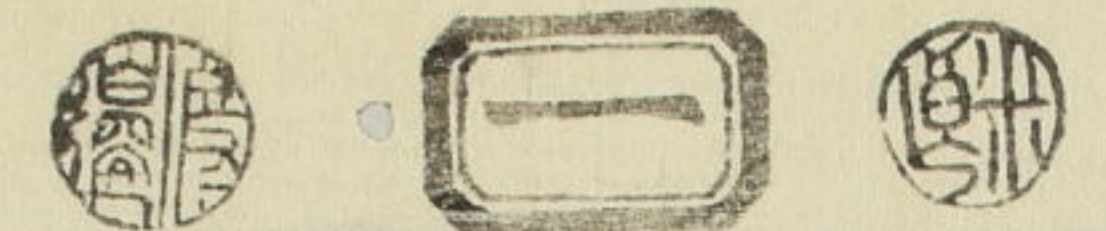
五

童子云々大傳の原本と讀み木工作の非命の死ハ許多鳥獸と稱シ曰愚小因
 前宵の夢あり著く彼殺生の報とらふべき事と又善と勸入との評語あり奈四郎も
 六工作の友あり共み又の鑛とられも其ハ此の事と稱シ曰愚小因
 天誅と俟たるものありや多多年穢せ報ハ本作の事とらふ丹波と作らるる事
 三島小浮浪とるも草造紙が作れり石みろ矢の念かたいて當りたる事
 開板唯いすすとも拙作故賣賞へるべきこと悪いと評さるる事
 曲亭翁皇末の錯悞われ必人論弁す彼奈四郎の死と後四文のお花のたて
 と本作の位牌小安房の國主の焼香と賜ふ同日論とさる奈四郎が殺生の報
 小首と洞分ちうちれ籠つよの語の脱ハ龍馬の蹉跎動態の道あり
 童子も合點く去ぬ扱も名作感心轉信さる曆門松の雪を研み阿ハ大の草
 筆始小先袋うの足跡の梅芳南枝のみる傳馬町へり贈る廿六編
 あく七十回之二約を鈔と

癸丑新春

笠亭仙果自序

二の七





泡盛奈四郎秋實

甘澤布十郎照文

犬須賀篠見成孝



里見五右衛門政光

犬山道薛忠興

曲多阿五郎

フのセテ

○ 岐の蘇山家猪野家家人太郎市結城

木ノ七ノ



木ノ七ノ
太郎市

落城
おしん
注進
の



木ノ七ノ
太郎市

木ノ七ノ
太郎市
結城

木ノ七ノ
太郎市

木ノ七ノ



太郎中とすし

わのんを
もんを
いぶを

太郎中とすし

あつり女のゆ
まのゆ
まのゆ
まのゆ

あつり
まのゆ
まのゆ
まのゆ

あつり

あつり
まのゆ
まのゆ
まのゆ

あつり
まのゆ
まのゆ
まのゆ

あつり
まのゆ
まのゆ
まのゆ





今更なる水は...
 上の水は下の水より...
 下の水は上の水より...
 水は常に動く...
 水は常に流れる...

水の世...
 水の世は...
 水の世は...
 水の世は...
 水の世は...

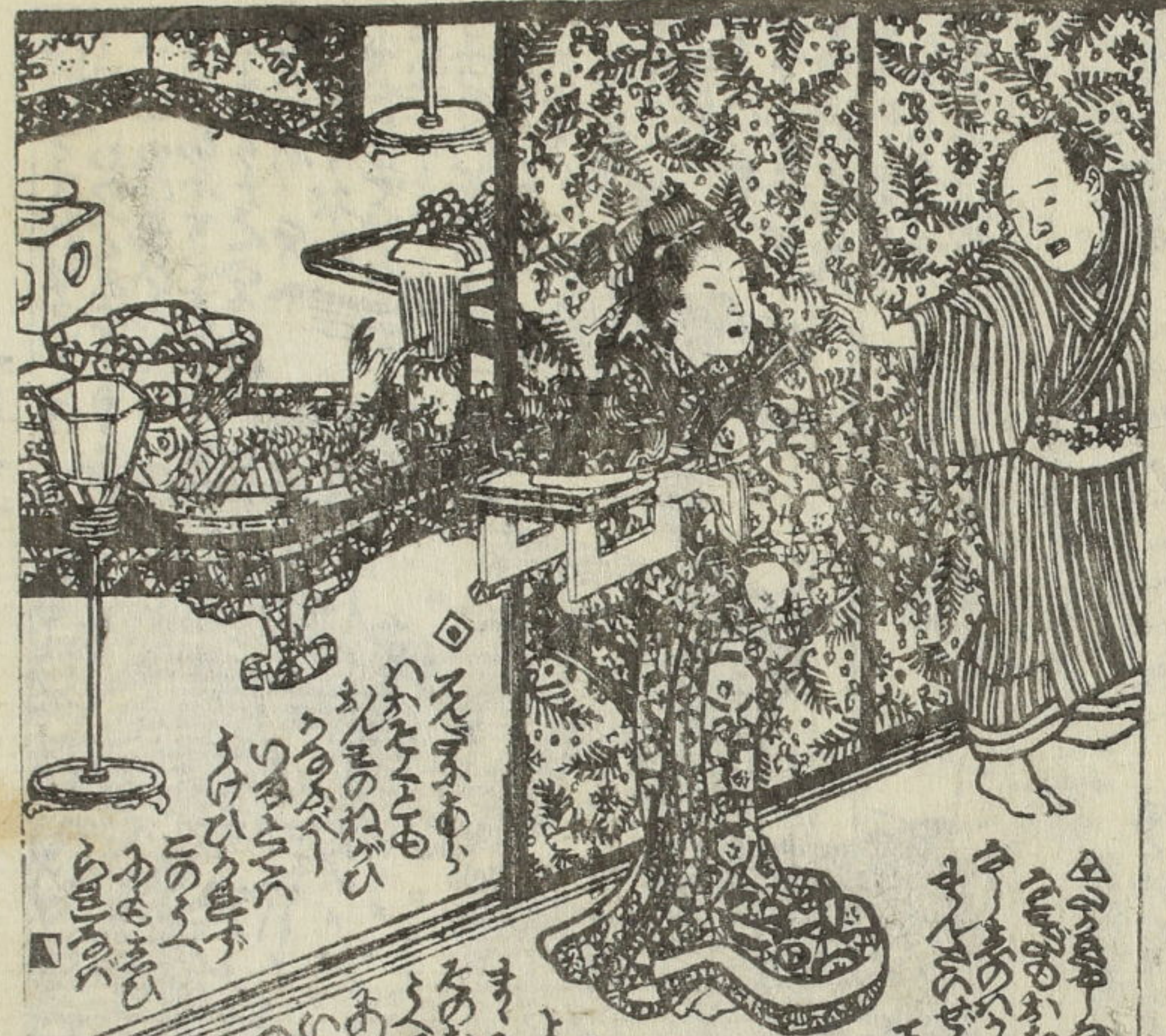


大郎市...
 大郎市...
 大郎市...
 大郎市...

水は常に動く...
 水は常に流れる...
 水は常に動く...
 水は常に流れる...



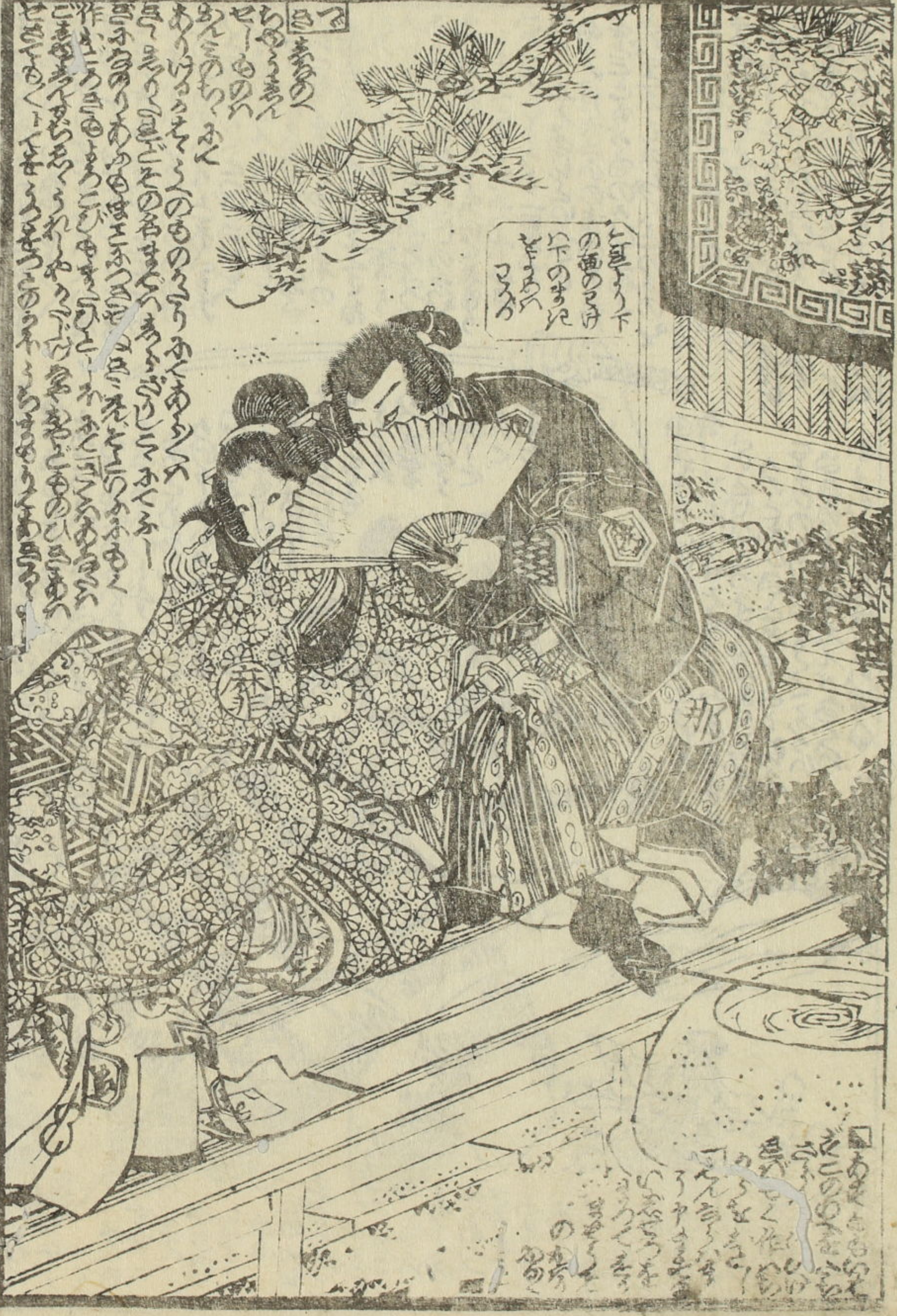
水は常に動く...
 水は常に流れる...
 水は常に動く...
 水は常に流れる...



花見の世
 春の風情
 花見の世
 春の風情

花見の世
 春の風情
 花見の世
 春の風情

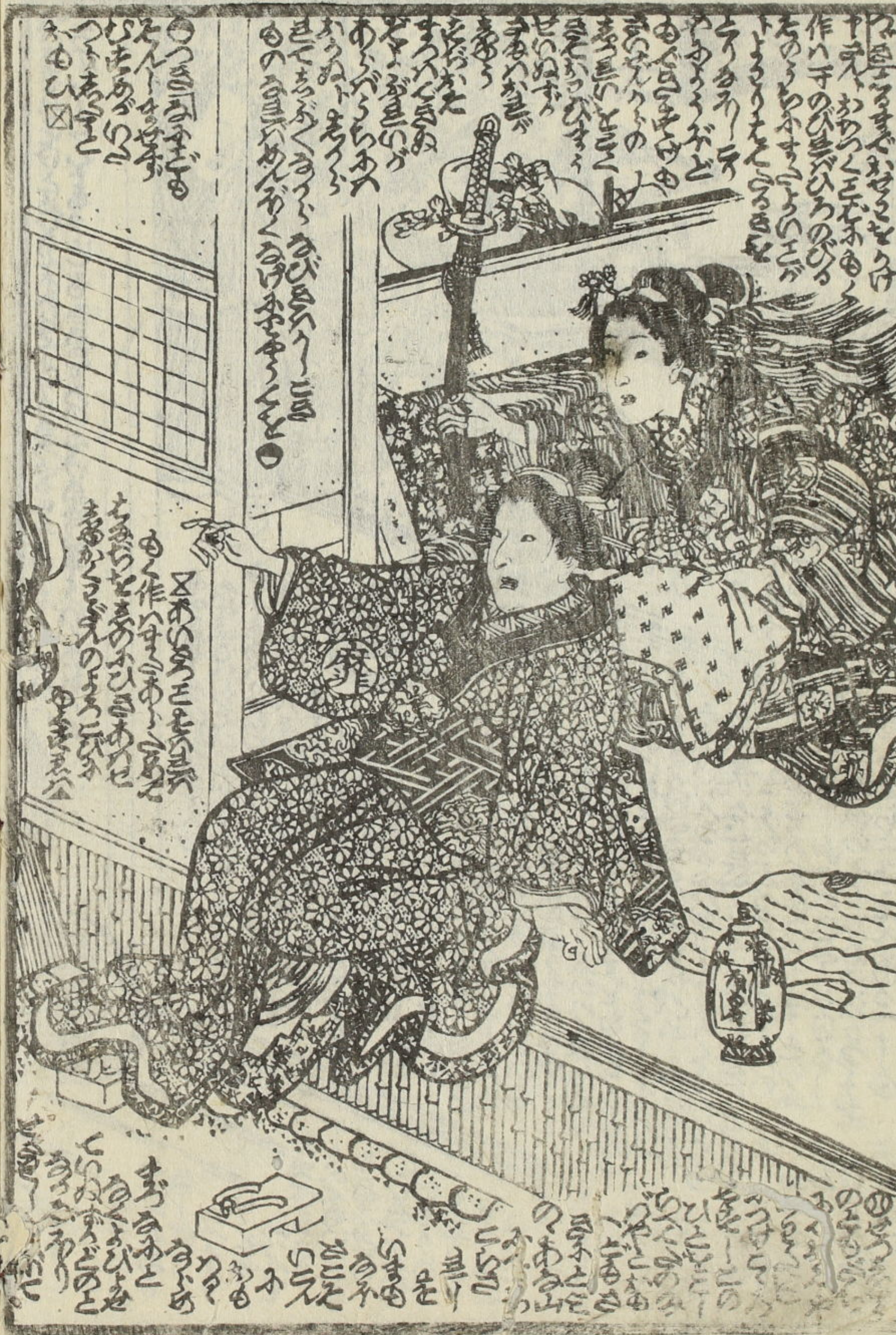
花見の世
 春の風情



花見の世
 春の風情

花見の世
 春の風情

花見の世
 春の風情



Handwritten Japanese text in vertical columns at the top of the right page, including the characters '大の廿六'.

Handwritten Japanese text in vertical columns at the bottom of the right page, surrounding the illustration.



Handwritten Japanese text in vertical columns at the top of the left page, including the characters '大の廿六'.

Handwritten Japanese text in vertical columns at the bottom of the left page, surrounding the illustration.



△かくのぬまが
まのすきあうこの
まんをめぐまをあらまふ
よしののこすうつや
うしあまゆりのこまごをよ
のつらうこのまろくとくと
ふさふさのこえはまんと
かろくまゆのちのまろくろく
よまろくまゆのちのまろくろく
△ひすかあやうまろくまゆのちのまろくろく

△かくのぬまが
まのすきあうこの
まんをめぐまをあらまふ
よしののこすうつや
うしあまゆりのこまごをよ
のつらうこのまろくとくと
ふさふさのこえはまんと
かろくまゆのちのまろくろく
よまろくまゆのちのまろくろく
△ひすかあやうまろくまゆのちのまろくろく

録果仙画真國

本 實母散

南傳馬町二百東側 千葉堂孝輔製
松方實母さんくまゆのちのまろくろく
あまろくまゆのちのまろくろく

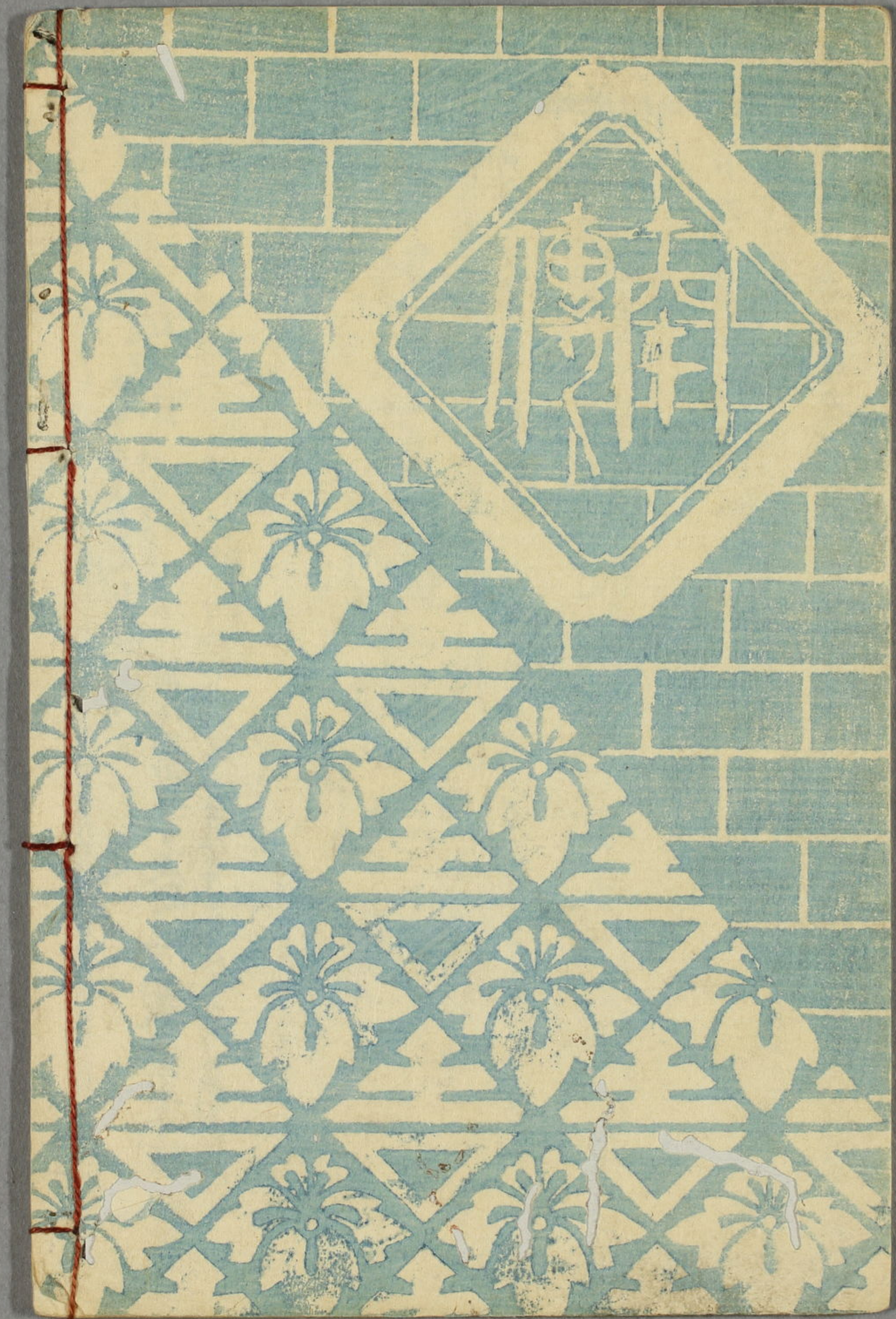
えんかん
中病

御用藥所 信州上田泰山堂製
世に伝へるくまゆのちのまろくろく

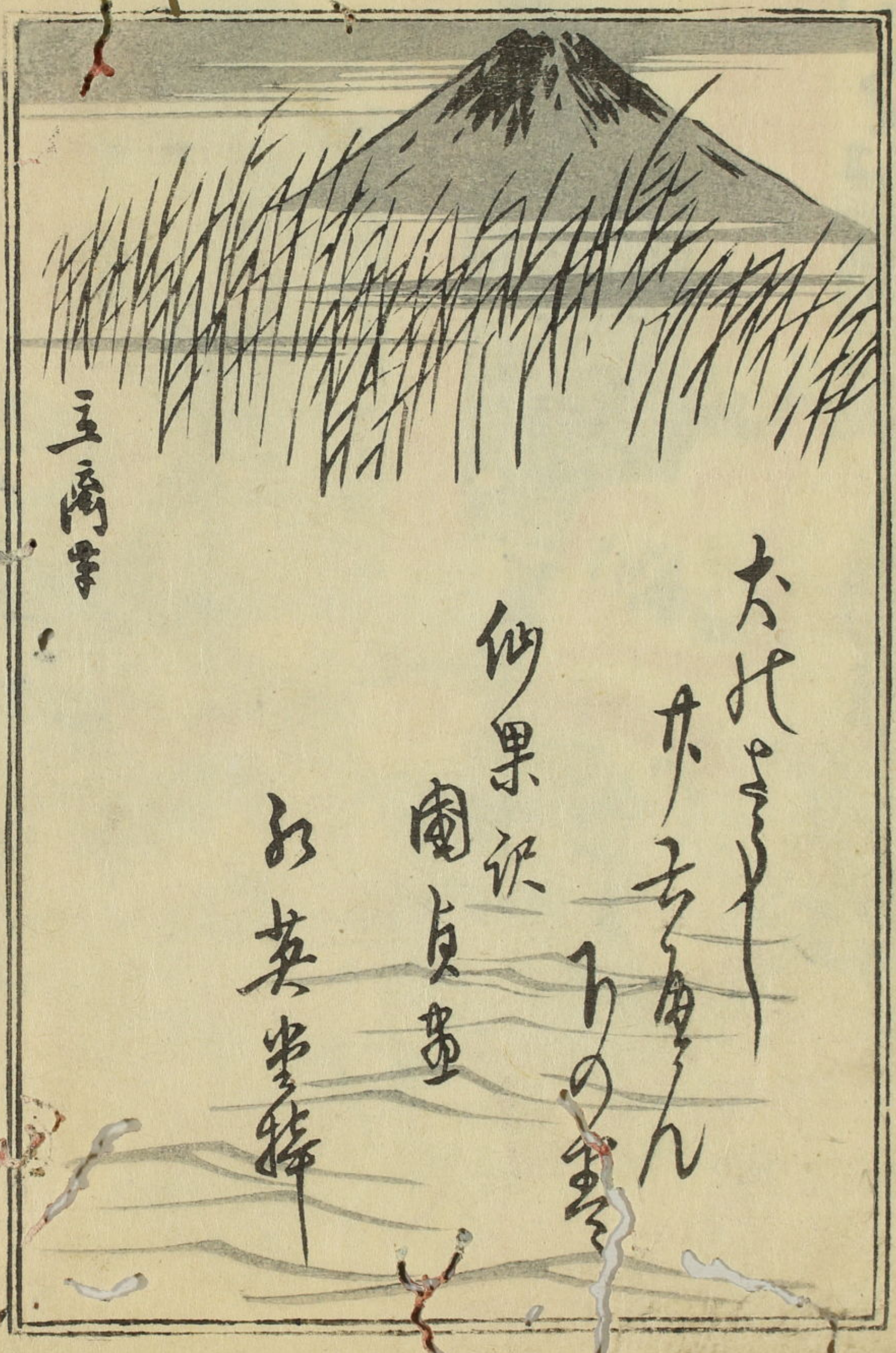
くまゆのちのまろくろく
くまゆのちのまろくろく
くまゆのちのまろくろく
くまゆのちのまろくろく

大日本國郡輿地全圖 六奉書 府郷御江戸繪圖

取次所 繪草紙問屋 江ノ國信州郡 鶴屋三三







三

仙果紙

園貞堂

お英半持

大北さき

井上角人

下の子





Handwritten text in a cursive script, likely a Japanese dialect or a specific form of shorthand, located below the illustration on the right page.

Handwritten text in a cursive script, located above the illustration on the left page.

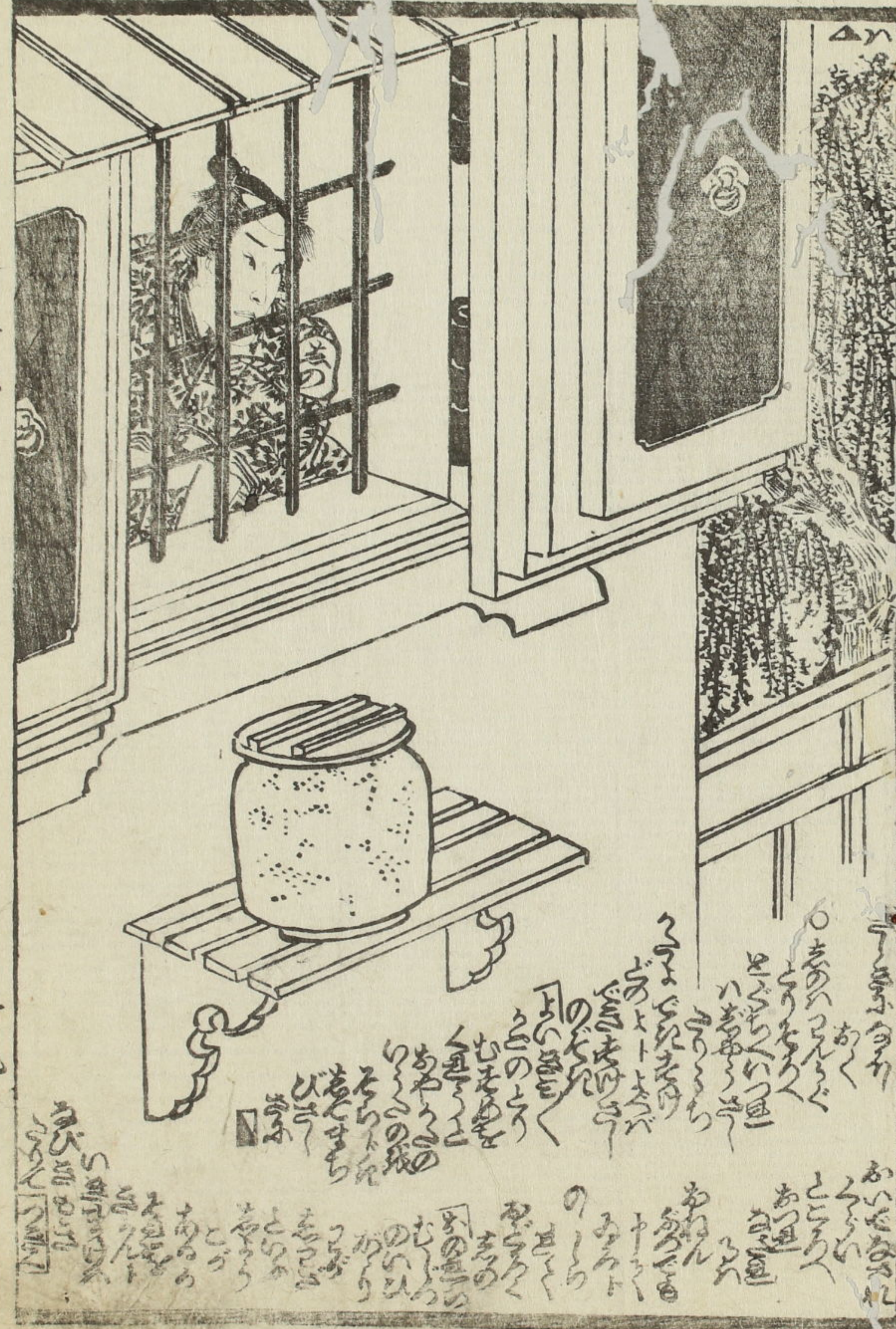


Vertical columns of handwritten Japanese text on the right page, likely a transcription of the scene or a commentary. The text is written in a cursive style and covers most of the page area.



四

Small handwritten text at the bottom left of the illustration, possibly a signature or a note related to the scene.



大の廿六

大の廿七

大の廿八



大の廿九

大の三十

大の三十一



どのふむぢぢぢ
つむらひぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ

ひもの
いそぢぢぢぢ
ぢぢぢぢ
ぢぢぢぢ
ぢぢぢぢ
ぢぢぢぢ
ぢぢぢぢ
ぢぢぢぢ
ぢぢぢぢ
ぢぢぢぢ
ぢぢぢぢ



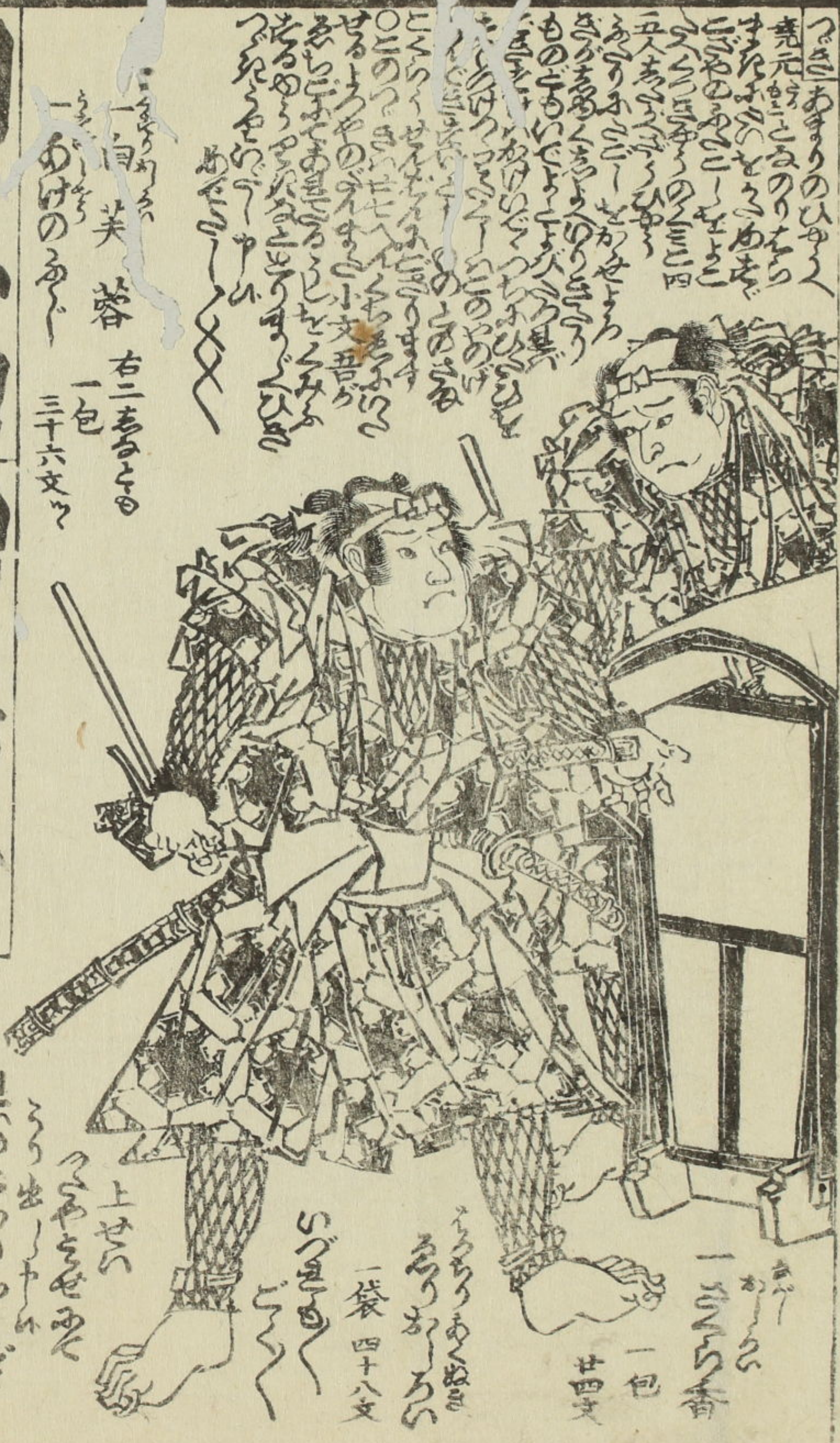
ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ
ぢぢぢぢぢぢぢ

大の十ハ

一ナ

國貞画仙果録



大梅屋者草紙

北端京山作
大梅芳細画

連理翅羅奇縁

藤西馬補
大尾芳細画

伏傳大崎紙

仙果録
仙果画

松浦船水禪婦言

三仙果録
四國芳画

御誓美少年始

一編司録
一編國細画

八重撫子累物語

二同録
三國貞画

俠客傳小摸略説

一編西馬譯
一編同画

花菱笠梅雅物語

三西馬譯
四國細画

鳴巡浪間朝景

六編煙言譯
七編國貞画

小幡小五次物語

五編作
二國貞画

古今草紙合

十編仙果作
十編國細画

問屋蕎屋吉藏板

東都南傳馬町二丁目
地本

嘉永 春寅 録日集

